

4 若者の結婚支援

〔現況及び施策の方向〕

少子化の急速な進行により、23年後の2045年の広島県の総人口が85.4%(対2015年)となる中で、15歳未満人口は77.2%となると予測されている。また、いずれ結婚するつもりと回答する若者は男女ともに7割以上であるが、未婚率は(広島県35～39歳)男性30.4%、女性21.0%であり、ギャップが生じるなど、未婚化・晩婚化が進行している。

こうした中、少子化対策の一環として、結婚や婚活に関する情報提供により若者の結婚活動を支援し、婚活の一步を踏み出しやすい環境を整えるため、出会いの機会創出や機運醸成に取り組み、若者の結婚の後押しを進めている。

〔事業の内容〕

1 出会い・結婚支援こいのわ事業(予算額 14,682千円)

独身若者を会員登録し、行政の結婚支援事業や民間企業、団体の結婚・婚活イベント等に関する情報を提供することにより、若者の出会いや企業等による出会いの場の創出を支援するため、「こいのわ出会いサポートセンター」の運営を補助する。

また、多様な主体による出会いの場の提供が今後も継続的かつ効果的に実施されるよう、ボランティアの養成を進める。

第1表 ひろしま出会いサポーターズ認定数及びこいのわボランティア登録数

(単位 団体, 人)

区分	ひろしま出会いサポーターズ 認定数	こいのわボランティア 登録数
令和3年度	38	198
令和2年度	37	191
令和元年度	37	177
平成30年度	35	144

2 市町少子化対策支援事業(予算額 13,633千円)

内閣府地域少子化対策重点推進交付金を活用し、少子化対策のため地域の実情に応じて結婚、妊娠、出産、子育て支援に取り組む市町を支援する。(平成26年度創設)